

平成17年7月27日
(財) 2005年日本国際博覧会協会
地球市民村事務局
地雷廃絶日本キャンペーン

愛・地球博「地球市民村」

「忘れられた地雷原～
韓国から訴える平和へのメッセージ」のご案内

日時:7月28日(木)～31日(日)会場:大地の広場

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、7月の参加団体「地雷廃絶日本キャンペーン」が主催するイベント「忘れられた地雷原～韓国から訴える平和へのメッセージ」を、韓国から趙載国(チョウ・ジェイクック)延世大学教授と被害者でもある洙恣(キム・スミン)君(20歳)を招き、7月28日(木)から31日(日)の4日間開催します。

記

日時:2005年7月28日(木)、29日(金)=18:30～20:00、
30日(土)=19:30～20:30、31日(日)=13:00～15:00

会場:愛・地球博 長久手会場 遊びと参加のゾーン「地球市民村」大地の広場

内容:政府が公式に認めていないため、存在がほとんど知られていない韓国の地雷被害。しかし朝鮮戦争時に埋められた地雷で1990～2000年の10年間に155人もの方(半数は一般市民)が亡くなり、今も被害者を生んでいます。5年前、15歳の冬、いつも通っている山で被害にあい、両手を失った金洙恣(キム・スミン)君と、韓国地雷対策会議(KCBL)の趙載国(チョウ・ジェイクック)延世大学教授が4日間を通して参加し、韓国の地雷被害の実態と被害者の苦悩を語ります。

7月28日(木) 紙芝居「地雷を踏んだモータラ」(地雷を踏んだ象の話)と韓国の学生による歌でつなぐ平和へのメッセージ。

29日(金) 韓国の学生による歌でつなぐ平和へのメッセージ。

30日(土) 金洙恣(キム・スミン)君と趙載国(チョウ・ジェイクック)氏が参加してのお話会。

31日(日) 紙芝居「地雷を踏んだモータラ」、韓国の歌によるメッセージ、7月参加の他の4団体も加わり、活動を次へつなげるメッセージを発信します。

以上